



今年の冬は、気温が低くて雪が多いと予想されています。

厳しい寒さや冬の備えは早めに！

特集

災害に備えて！

第3弾

「自分の命は自分が守る」

意識を持ちましょう



❗❗❗ 冬の気圧配置

(函館地方気象台)

「西高東低の冬型の気圧配置」という言葉をよく聞くと、思います。これは西側に高気圧、東側に低気圧がある気圧配置のことで、北西からの冷たく強い風が吹くのが特徴です。

冬期間に「西高東低」となりやすいのは、大陸が冷やされることで空気が重くなり、優勢な高気圧が形成される一方、低気圧がオホーツク海から千島列島付近に発達しながら進むことが多くなるためです。

しばれる～



「冬型の気圧配置」

長いときには1週間！

大陸からの冷たい風が日本海を通過するときに、水蒸気を補給して雲（細く筋状になるのが特徴）が次々と発生し、日本列島に流れ込んで雪を降らせませす。

限られた同じ地域に雪雲が入り続けると、局地的な大雪をもたらすことがあり、生活に大きな影響を与えることもあります。

気象台が発表する防災気象情報をホームページやテレビなどで確認し、大雪・暴風雪の際は行動を控えるなど、被害に備えた準備を心がけてください。

冬の北海道で大雪となるパターン

天気図



冬型の気圧配置がもたらす大雪 (イメージ図)

